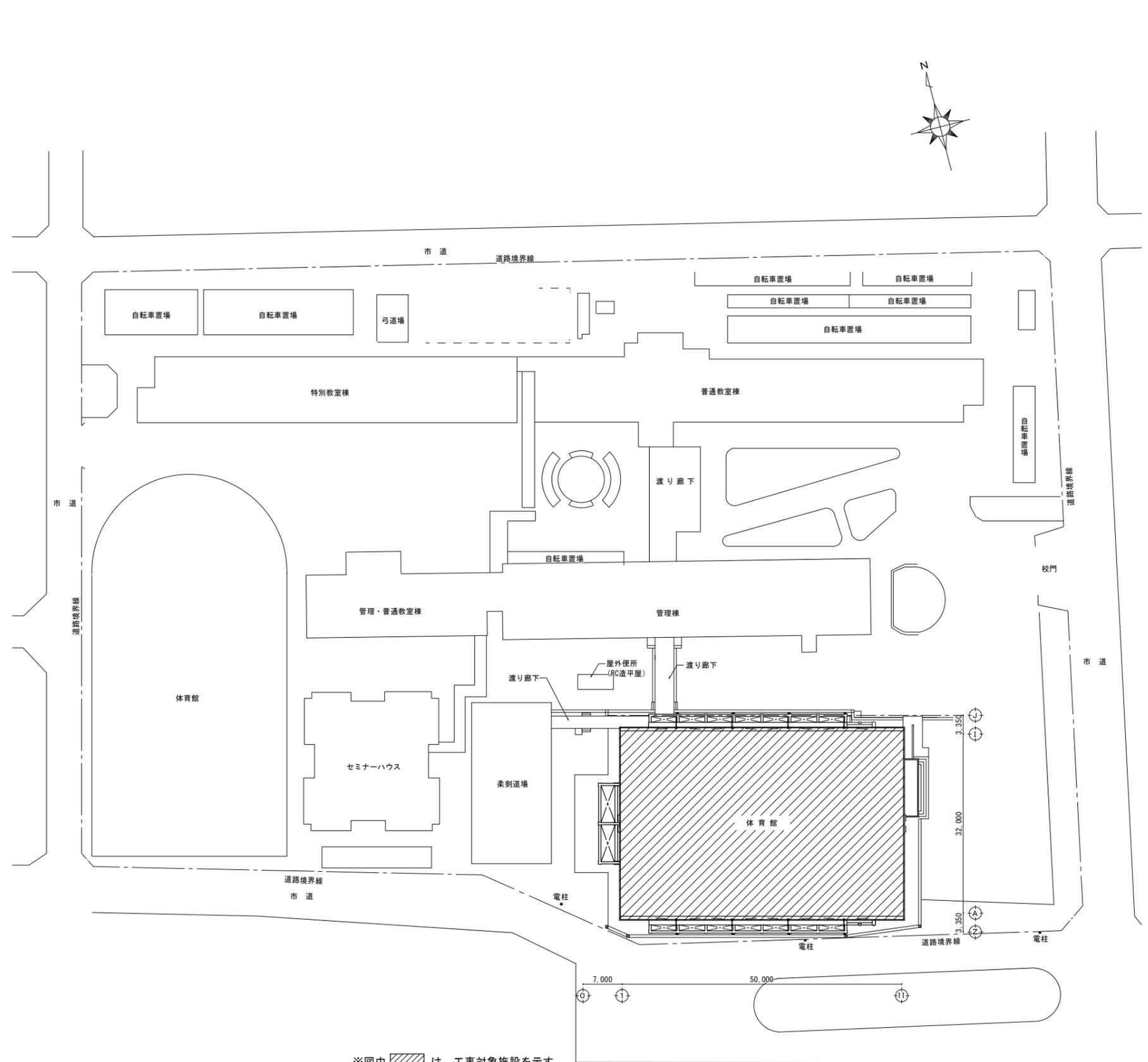
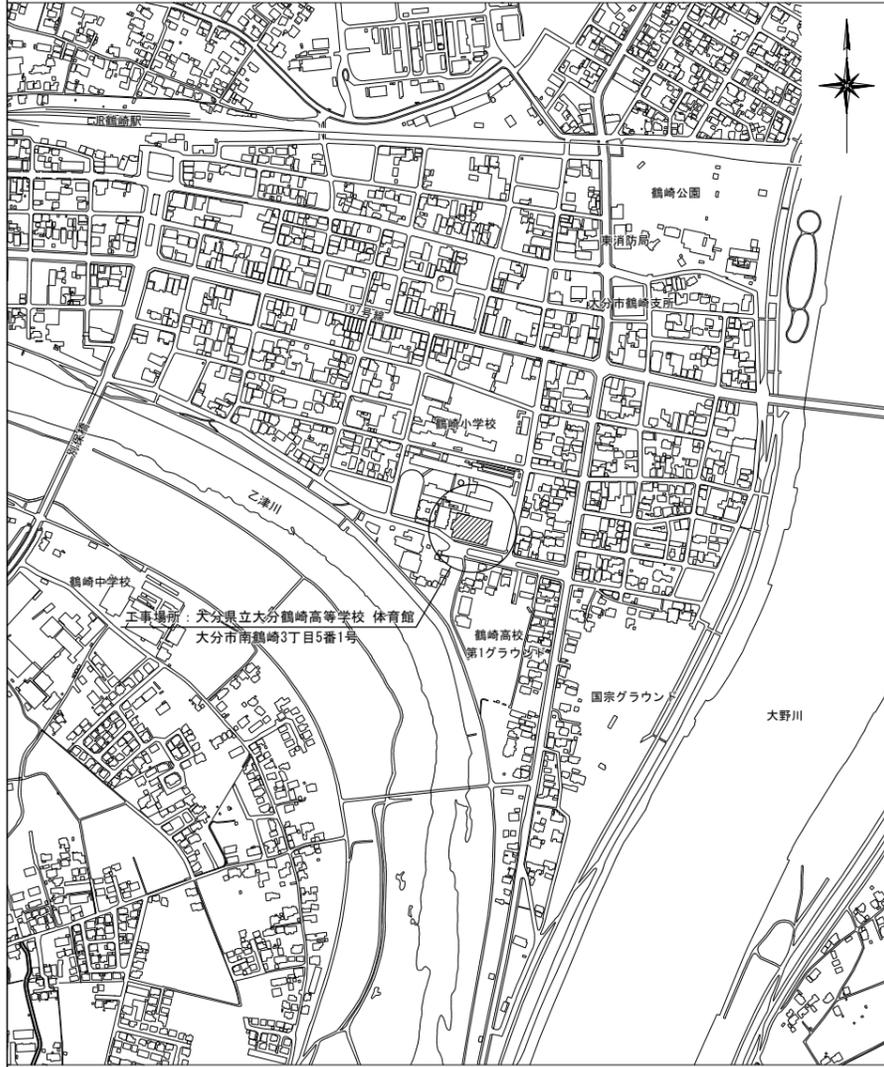


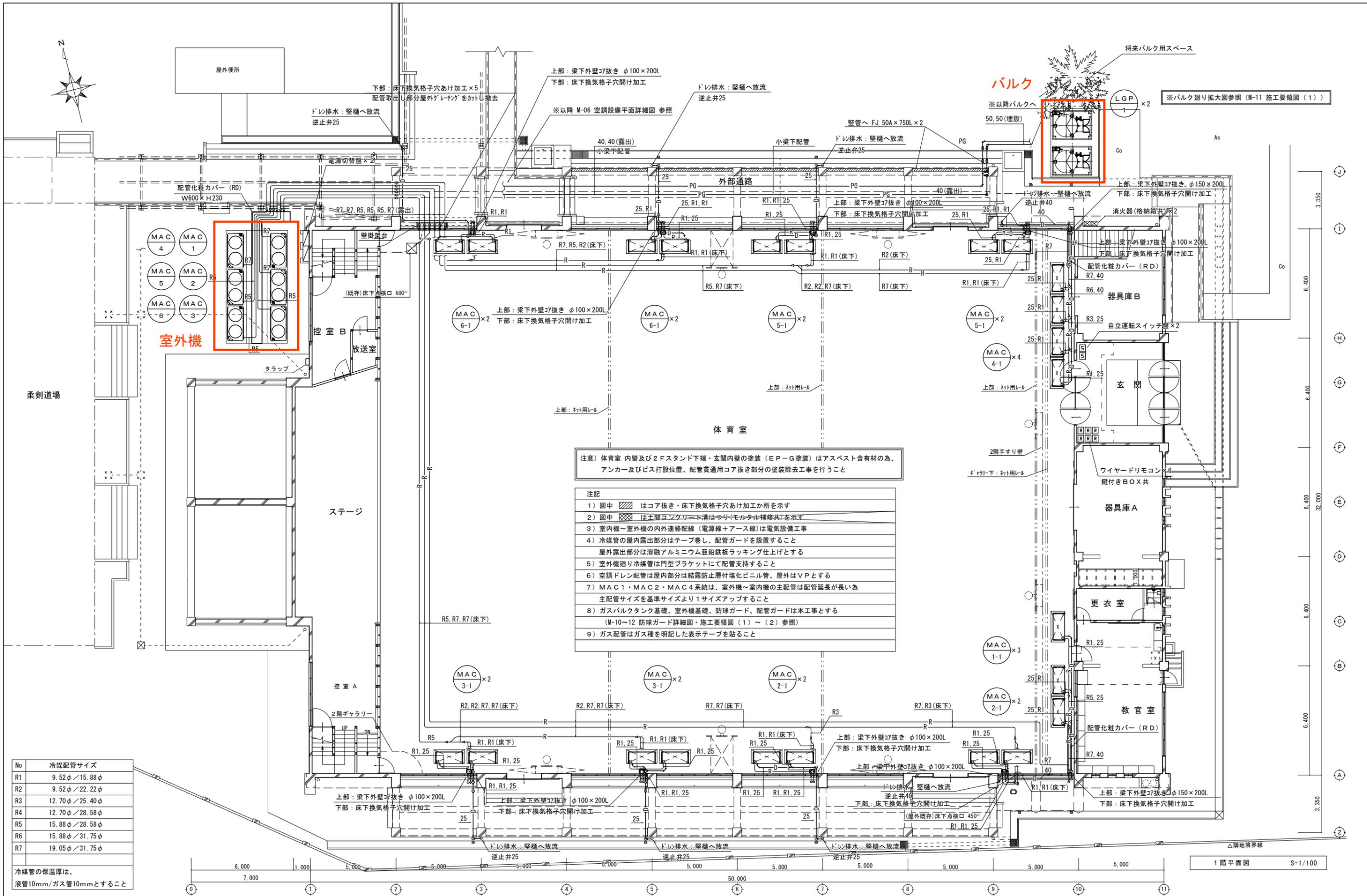
付近見取図



※図中 は、工事対象施設を示す

全体配置図 S=1/400

年度	竣工年月	工事名	大分鶴崎高校 体育館 空調設備工事	大分土木事務所 建築住宅課	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示		No. M-03
R6	R7.1				全体配置図・付近見取図	A1: 1/400 A3: 1/800	株式会社 桑野設計 代表取締役社長 桑野 尚樹 〒870-1133 大分県大分市大字宮崎1385番地1-205号 一級建築士事務所登録 大分県知事 第24W-13595号 一級建築士 第358391号 桑野 尚樹		



注意) 体育室 内壁及び2Fスタンド下端・玄関内壁の塗装 (E-P塗装) はアスベスト含有材の為、アンカー及びビス打設位置、配管貫通用コア抜き部分の塗装除去工事を行うこと

- 注記
- 1) 図中 はコア抜き・床下換気格子穴あけ加工か所を示す
  - 2) 図中 は土間コンクリート溝はつり(モルタル補修共)を示す
  - 3) 室内機~室外機の内外連絡配線(電源線+アース線)は電気設備工事
  - 4) 冷媒管の屋内露出部分はテープ巻し、配管ガードを設置すること  
屋外露出部分は溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング仕上げとする
  - 5) 室外機廻り冷媒管は門型ブラケットにて配管支持すること
  - 6) 空調ドレン配管は屋内部分は結露防止層付塩化ビニル管、屋外はVPとする
  - 7) MAC1・MAC2・MAC4系統は、室外機~室内機の主配管は配管延長が長い為、主配管サイズを基準サイズより1サイズアップすること
  - 8) ガスバルクタンク基礎、室外機基礎、防球ガード、配管ガードは本工事とする  
(M-10~12 防球ガード詳細図・施工要領図(1)~(2)参照)
  - 9) ガス配管はガス種を明記した表示テープを貼ること

No	冷媒配管サイズ
R1	9.52φ/15.88φ
R2	9.52φ/22.22φ
R3	12.70φ/25.40φ
R4	12.70φ/28.58φ
R5	15.88φ/28.58φ
R6	15.88φ/31.75φ
R7	19.05φ/31.75φ

冷媒管の保温厚は、液管10mm/ガス管10mmとすること